

2
 0
 2
 0
 3
 1
 0
 1
 A位 B位 C位 D位 E位 F位 G位 H位
 御影 神戶弘陵 関 須磨東 滝川第二 三 原 西宮東 八代学院
 工 ② 2PK1 ④ 4PK5 ⑤

神戸市少年選抜 天津市を友好訪問

8月9日から16日まで、中国天津市に神戸市少年選抜チーム役員4名、選手16名が友好少年サッカー代表団として訪問した。

9日昼、神戸市主催の壮行会の後、大阪空港を出発、上海経由で北京着、天津市には9日深夜に到着した。少々疲れ気味で10日午前中は休息、夜には銭副市長主催の招宴に参加、子供達は公式行事ということで緊張感みであったが、パンダのぬいぐるみなどプレゼントされ喜んでた。

11日は午前中練習、午後鉄路第一チームと友好試合、教育局の幹部が出席されてセレモニーが行われた。

▷第1戦

神戸市少年選抜 0 $\begin{smallmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 0 \end{smallmatrix}$ 2 鉄路第一小

市選抜は初めての経験で緊張がほぐれないままキックオフ。そのためキック、パスにミスが目立ち、開始早々パスをカットされ切り込まれてゴールを許す。その後も相手の圧迫がきつく、とまどいから消極的になり相手ペースのまま終始した。重たい速いシュートが打たれ、何度もポストに当たったりしたがGKの和田がよく防ぎ、また、とまどいも徐々

にとれ動きもなめらかになってきた。しかし、19分ゴール前で左右にふられて2点目を決められた。

後半はパス出しをていねいに、また、1対1の戦いで負けずに体をよせる。そして思いきったシュートを打つことを確認して送り出したせいか、意識したパスが通り、自分達のペースで試合が出来た。8分には山本がドリブルで切り込みセンターリング、平山がシュートしたがゴールの左にわずかにそれるなど、何回もチャンスがあったが得点出来ず試合終了、せめて1点をとれば自信につながると思っただけに残念であった。

12日は河西区少年宮を訪問、少年達のすばらしい演技に驚かされた。ゲームや合唱等で交歓し、午後雨の中を南開大学の構内でランニング中心の練習で汗を流した。2試合目こそはと選手全員気合いが入り、張り切っていた。8月13日実験小グラウンドが前日の雨で使えず、運動競技場の芝のグラウンドで試合ができることになった。

▷第2戦

神戸市少年選抜 2 $\begin{smallmatrix} 1 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{smallmatrix}$ 1 実験小



前日のミーティングでも一人一人の良い点悪い点を確認し、自分の特徴を出して良い試合をしよう。そして勝ちにこうということまで最初から意気込んでいた。

開始早々相手にサイドチェンジからのボールを決められ先制されたが、自分達のペースを心がけ14分には山本からのセンターリングを平山がシュート、惜しくもポスト横。17分には堂林がドリブルで突破しフリーになったがつぶされてチャンスを逃がした。しかし、24分、HBからのパスを平山が持ちこみゴール。1対1となりハーフタイム。

ボールが止まるので強めのパスを出すことFKの処理、1対1にせり勝つようになどと指示して後半に入る。動きがよく6分、ゴール前に持ち込み相手フェウルでFKをもらった。しかし狙いすぎてポストに当たり得点ならず。何度もチャンスをつぶしてしまっていたが、16分平山がバック裏へ出たパスをうまくドリブルしてシュート、ゴール。そのまま2対1で終了した。

鉄路チームも、実験チームもボールコントロールがよく、ドリブルも安定し、スピードがあり、またパスのタイミングもよく、良い練習をしているなど感心させられた。さらに勝負を最後まであきらめない姿勢。負けたときの口惜しがりやなど、神戸の少年達に不足しているものはと、考えさせられるものが多かった。

夜の教育局主催のさよならパーティーの席上、ミニボールをプレゼントしていただき、数々のご好意に感激をあらたにした。

14日は天津動物園でパンダを目の前で見学、午後北京市へ移動。15日、万里の長城、故宮、天安門を見学し、中国の歴史のすごさを感じる。16日、順和(イフ)園を見学、午後北京空港をたち、大阪空港へと帰途についた。

遠征を振りかえて、まず、天津教育局の方々の心のこもった気配りに最大の感謝の気持ちを表したい。また、機会を与えて下さった神戸市、さらに、少年達へ優しさの中に、きびしさも見せながら接していただいた高砂団長、一北保五郎氏に感謝の気持ちでいっぱいである。

監督 志賀 守

団長 高砂嘉之 主務 一北保五郎 監督 志賀 守(木津小) コーチ 伊窪吉和(小部東小、市協会少年委員長)

選手 稲葉孝和 落合甲太 北川智史 堂林勝利(KFC) 垣屋良 山根剛司(北五葉) 鎌田勇人 土井健(高倉台) 小山高廣 平山将彦(夢野) 土井 崇 山本成彰(みゆき) 高橋文仁(多井畑) 長井健次(神陵台) 葉田聖侍(木津) 和田譲(東舞子)

リオデジャネイロと親善試合

国際少年親善試合神戸大会

8月23日、ユニバー競技場メイングラウンドで、市選抜チームとブラジル・リオデジャネイロ市選抜チームとの国際少年親善試合が行われた。リオのチームはFCヴォスコの少年を中心としたメンバーで、さすがに個人技がしっかりしていた。またサッカーをよく知っていた。

前半当初、神戸市選抜は相手のプレッシャーの強さにとまどい、自軍ゴールにきづけにされた状態であった。再三のピンチをなんとか逃げていたが、11分シュートがバックにあたって方向が変わりゴールイン、先制される。しかし、その後落ちつきを取り戻し一進一退の状況であった。

後半は、はやいパスワークとドリブルをおりませ、フォローアップも良くなり自分達のペースで試合ができだし、16分平山からの右コーナーキックを小さくクリアされたボールを北川がヘッドで押し込んで同点にした。その後も再三得点チャンスがあったがゴールを割れずにタイムアップ。動きながらのボールコントロール、ドリブルのやわらかさなど、今後参考にすべき点がたくさんあった試合であったと思う。

監督 志賀 守

神戸市選抜 1 $\begin{smallmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{smallmatrix}$ 1 リオ市選抜

新連載

天に天国あり 地にフットボールあり

南アメリカ3カ月の旅 ①

<15>

上野 勝幸



原っぱ、広っぱ、じゃなかったヨーロッパの次は、南アメリカに熱き血潮が騒ぐ。「ヨーロッパと南アメリカ」、これはいかにもライスカレーと福神漬けのような取り合わせだが、お百姓さんがたんぼや麦畑を知らないうちは困る。世界のフットボールの二大震源地を五尺二寸の体で見えておきたのははつきりしていたが、後のことはチリについてから日程を決める、不精者の気ままな旅である。でも、フットボールの二大震源地を五尺二寸の体で見えておきたのははつきりしていたが、後のことはチリについてから日程を決める、不精者の気ままな旅である。でも、フ

ワールドユース大会(チレ) ①

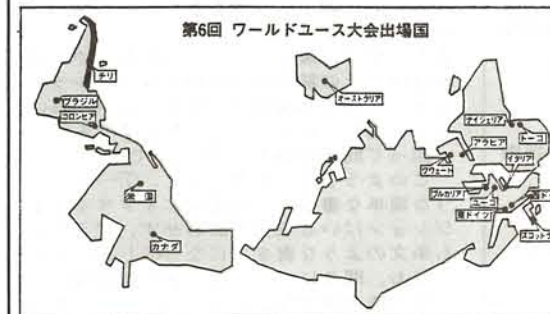
ラテンの風に魅せられて

フットボール大国ブラジルとアルゼンチンを訪れないようでは、旅の意味は半減する。南アメリカクラブ選手権の決勝が、ウルグアイで行われることも、出発直前に知った。ついでというわけではないが、ロメロを生んだパラグアイにも引かれたものがある。

1987年10月、ダゴベルトさん夫妻の見送りを追い風に、機は大阪に広がる青いスクリーンに舞い上が

った。韓国ソウルを経由して、米国のロサンゼルスに到着する。ここには、サイモン&ガーファングルの「Sound of Silence」に浸っていた。チリで開かれるワールドユース大会を観戦することだけははつきりしていたが、後のことはチリについてから日程を決める、不精者の気ままな旅である。でも、フ

日本のはぼ真東を36時間、チリの首都・サンチアゴの街がぐんぐん迫ってきた。



年	ワールドカップ	ワールドユース大会	オリンピック
1977		①チュニジア(ソ連)	
1978	②アルゼンチン(アルゼンチン)		
1979		③日本(アルゼンチン)	
1980			④モスクワ(チェコスロバキア)
1981		⑤オーストラリア(西ドイツ)	
1982	⑥スペイン(イタリア)		
1983		⑦メキシコ(ブラジル)	
1984		⑧ソ連(ブラジル)	⑨ロサンゼルス(フランス)
1985		⑩メキシコ(アルゼンチン)	
1986	⑪メキシコ(アルゼンチン)		
1987		⑫チリ(ユーゴスラビア)	
1988		⑬ナイジェリア	⑭ソウル(ソ連)
1989			
1990	⑮イタリア		

○内の数字は回数、そのあとの国名・都市名は開催地、()内は優勝国



ここは地球の裏側、ヘタをすると暗黒の宇宙に吸い込まれてしまう。タラップの手すりにはしみがみつきながらソロソロ降りてきた。大丈夫だった。やっぱり地球はたいらだ。鶏と同じで「暗け

れば夜、明るくなればアサー」と信じる習性があるから、11時間の時差も気にしない。気候がどうやら日本と反対のようだが、暑い寒いのは慣れ合いにもよるだろう。小学3年の時「地球は丸い」と教わったが、それをずうっと信じてこなかったのは正しかった。

人口432万、標高520mの平原に広がるサンチアゴの10月は「春」まっさかり。どの風景を切り出しても、鮮やかな花がアクセントになって飛びこんでくる。ハツと気がつくと、群青(ぐんじょう)色の空から万年雪をいただいたアンデスの峰々が見下ろしていた。

チリはチリでない美しい国、というのはいちとオーバーだが、チリ国は公用語のスペイン語では「チレ(Chile)」。世界の国名、地名はどれもややこしい。その国の言葉で呼ぶのが礼儀だと思うが、英語の呼称が多いようだ。しかし、イタリアやドイツなど例外も少なくない。

スペイン語と格闘する日々が始まった。英語だと気配り目配りしながら読まなければならないので疲れるが、スペイン語の発音は素直である。小学校で習ったローマ字が結構役に立つ。



▼チリのユース代表の試合で、イースター島に長く伝わる民族舞踊

「フットボール」のもともとの言い方は、スペイン語では「ボール」と「足」の意味を組み合わせた「バロンピエ(balompìe)」だが、実際にはほとんど使われていない。世界共通の「フットボール」がこころも正式だ。もともと「フットボール」と言うより「フットボル(fùtbol)」の方がスペイン語らしく聞こえる。「Soccer」の表示もないことはないが、スペイン語の発音では「ソケル」となる。

ワールドユース大会は、世界の人々の間にフットボールに対する人気をより一層高め、青少年がフットボールを通じて健全に育ってほしいという願いから生まれた。FIFAもこれをワールドカップに次ぐ大会として位置づけている。選手の年齢は、16歳から19歳まで。日本では高校生ということになり、子供っぽさが抜けきらないが、外国のユース選手は、その国の代表になってもおかしくない実力の持ち主ばかりだ。

第1回大会はアフリカのチュニジアで開催され、ソ連が優勝。続く1979年の日本大会は、18歳のマラドーナが初々しく、しかし華麗に世界にデビューした舞台でもあった。決勝でソ連を下し、アルゼンチンが前年のワールドカップに続いて、ワールドユースでも世界を制した。神戸中央球技場では韓国、カナダ、ポルトガル、パラグアイによる予選リーグが展開され、真夏の夜にロメロ旋風が吹き荒れた。

2年ごと開催のワールドユース大会が実現したこと、4年に1度のワールドカップ、その中間年のオリンピックと絡んで、毎年ファンを興奮させる世界的規模の大会が行われることに



なった。

第6回チリ大会にはヨーロッパ6、南アメリカ2、アジア2、北中米・カリブ海2、アフリカ2、オセアニア・イスラエル1と開催国チリの計16か国が参加した。アジアの代表はサウジアラビアとクウェート。日本はアジアの地区予選で敗退している。

ダゴベルトさん夫妻の紹介で、在チリ日本大使館に勤める高崎ともさんのお世話になった。「入場券はすっかり売り切れよ」と聞かされて、開幕前日の国立競技場へ走った。あとはダフ屋さんに頭を下げるしかない。予選から決勝まで10試合セットの入場券を、2倍の値段で手にした。

10月10日、2週間にわたる大会が、予選リーグA組のチリ対ユーゴスラビアの試合で開幕。サンチアゴの国立競技場には、チリの国旗が波を打つ。ユーゴスラビアは、チリの11人の選手と熱狂する7万7千の観衆を相手にしても冷静さを失うことなく、チリをねじ伏せた。観衆は天を仰ぎ、降りしきる雨の中、両手で顔を覆った。ユーゴスラビアの強さが、雨といっしょにフィールドの芝生にしみ込んでいく。

楽しい南アメリカの旅は、いま始まったばかり。

—続く—

(うののかつゆき 写真も)

モンブラン発。愛するサッカー人へ。

SOCCER SHOES



マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト ●ソール/レッド・グレイ ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000

TRAINING SHOES



コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●ソール/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,600

TRAINING SHOES



コーチャーCTR-21-PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●ソール/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200

モンブラン株式会社 本社 〒653 神戸市長田区神楽町4丁目7-16 TEL (078)641-8881 東京支店 〒111 東京都台東区浅草橋3丁目10-8 TEL (03)862-5891 福岡営業所 〒816 福岡市博多区那珂1丁目12 TEL (092)473-8881